

CASBEE[®]-戸建(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2018年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH_NC_2018v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	北高鍋モデルハウス		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2018年12月	予定		持ち込み家電等	仮
建設地	宮崎県児湯郡高鍋町			外構の仕様	確定
用途地域	準工業地域	確定	<備考>		
省エネルギー地域区分	7 地域				
構造・構法	木造・在来軸組工法	確定	評価の実施日	2018年12月13日	
階数	1		作成者	宜野座	
敷地面積	493 m ²	確定	確認日	2018年12月13日	
建築面積	131 m ²	確定	確認者	宜野座	
延床面積	122 m ²				
世帯人数	4	確定			

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE ≒ 3.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

戸建標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	72%
③上記+②以外のオンサイト手法	-58%
④上記+オフサイト手法	-58%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.0

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア= 4.3

暑さ・寒さ	4.9
健康と安全・安心	3.7
明るさ	4.0
静かさ	4.0

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア= 4.2

長寿命に対する基本性能	4.5
維持管理	5.0
機能性	3.0

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア= 3.2

まちなみ・景観への配慮	5.0
生物環境の保全と創出	1.0
地域の安全・安心	4.0
地域の資源の活用と住文化の継承	3.0

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア= 4.8

総合的な省エネ	4.9
水の節約	4.5
維持管理と運用の工夫	5.0

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア= 3.6

省資源、廃棄物抑制	3.0
生産・施工段階に役立つ材料の採用	4.3
リサイクルの促進	5.0

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア= 3.5

地球温暖化への配慮	5.0
地球環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	2.5

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>アイ・ホームの建売住宅として、住宅展示場としての側面も持つ建物とするため性能面では、設計性能評価の等級を積極的に上げるようにした。建築にあたっては建物本体はもちろんの事、外構も含めてトータルでの計画とした。</p>		
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>室内環境を快適・健康・安心にするため、設計性能評価の基準をベースに設計した。断熱性能が等級4を超えるレベルにして、マッサシステムを導入することで暖冷房・換気に配慮した。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>長く使い続けるための対策も、設計性能評価の基準をベースに設計した。等級を上げつつ、メンテナンス性にも配慮した外壁・屋根材を使用した。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>建築にあたっては建物本体はもちろんの事、外構も含めてトータルでの計画とした。(建物・外構ともに外注でなく自社での施工とした)そのため、トータルでのまちなみ・景観への配慮が可能になった。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>建物の断熱性能をよくすると共に、節水・節湯の器具を積極的に使用した。またHEMSを導入し、お客様への説明資料ですまい手の意識を高める様にした。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>外装材や断熱材・その他にリサイクルを意識したものを使用し施工段階でも、ごみが少なくなるように、また分別にも配慮した。さらに、それをお客様に説明できる様、資料としている。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>敷地の地形や表土の保全に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)